

生協強化月間

政治や物価高の影響で病院や施設が潰れているのをご存知でしょうか。

「健康に暮らしたい。」「もしもの時には必要な医療や介護を受けたい。」と誰もが願っていると思います。

これからは、自らの健康を自らで守る時代になります。

医療生協は、医師・看護師などを地域へ派遣して学習会を行なう健康増進活動や組合員同士での健康作りを行なっています。加入や増資、参加はご自身やご家族様、身近な人だけでなく、隣近所、地域の方の健康づくりや必要な医療・介護を守ることにつながります。



継続的な出資金により、地域にある病院や施設の存続運営を守ることにご協力いただけると幸いです。みぬまでは今年度お風呂の大改修工事に使わせて頂きました。

みぬまの食事について

食養科では、利用者様の栄養状態を多職種で検討し、咀嚼・嚥下（かむ・飲み込む）の状態や食事摂取状況、体重減少が見られる方など、通常の食事だけでは低栄養状態のリスクがある場合などに栄養補助食品を使用することがあります。それにより、やせている方の体重増加や、食事摂取量（摂取エネルギー）の増加など、栄養状態改善につなげています。また、個々に合わせた食事形態での提供で安全に召し上がっていただける工夫もしています。



2階新棟の紹介

9月2階本館・新棟と合同で【うちわ行事】【アイスクリーム行事】を行ないました。うちわ作りは好きなシールを貼り「こんなシールが今あるの？可愛い、面白い」と談笑され楽しまれていました。



アイスクリームは好きな味を選んで頂き、ハーゲンダッツアイスを「美味しい」と全利用者様に喜んで頂けました。利用者様の笑顔や楽しまれている姿は私達職員も元気がです。



認知症月間に寄せて



毎年9月21日は「世界アルツハイマーデー」でした。認知症への理解を深め、支援の輪を広げる日です。アルツハイマー型認知症は最も多い認知症の一つで、早期の気づきと支援が重要とされています。世界各地ではライトアップや講演会、啓発活動が行われ、偏見や誤解をなくす取り組みが進められています。地域全体で支えることが、安心して暮らせる社会づくりにつながります。

生協10の基本ケア 第6章 座って会話する

《なぜ座って会話をするのか？》

まず初めに誰かと会話をする時を想像してみてください。仮に自分が座っているとします。そして相手は立ったまま話していたらどうでしょう。相手に対して威圧感を感じませんか？誰と話をしているのだろう？もし同じ目線の高さで話しかけてくれていたら安心感を抱き、話しやすくなると思います。また自分と話をしていると分かります。さらにお互い座っていたらゆっくりと話せる環境になります。



人は会話をするときは目線を合わします。高齢になると視野が狭くなり、さらに認知症の方はより顕著に表れます。私たち職員はそういった点を理解し、配慮するために立ったままではなく、相手と目線を合わせ「私は、あなたの話を聴く準備ができていますよ（聴きますよ）」「私は、あなたと話をしていますよ」と安心感を持って頂けるよう日々のケアを心掛けるようにしています。

6 座って会話をする



安心感を与えられるように座って会話をします。共に時間を過ごし、日々の見守りを行います。

子ども食堂

9月20日（土）に開催した子ども食堂では、特別メニュー♪吉野家（川口柳崎店）さんより牛丼50食を無料で提供いただき、サラダとチョコレートケーキもつけて、皆でおいしくいただきました！昔遊び（めんこ、ベーゴマ、コマ、お手玉）の遊びも行い、大人も子どもも本気になって楽しみました。



オレンジカフェのお知らせ

毎月第3火曜日 13：30～開催しています。

11/18（火）の学習は「認知症の体験をしてみよう」

12/16（火）は「お口の健康を維持し続けるために」

オレンジカフェは、どなたでも参加できるカフェです。家族のこと、友人のことなど身近な心配事の相談にも専門職が対応します。ご参加お待ちしております。

次回開催は、

・11/18（火） ・12/16（火）
13：30～となります。



フードパントリーのお知らせ

次回の予定は

・11月29日（土） ・12月27日（土）
13：00～14：00（時間予約制）

*食材の寄付を募っています。ぜひ、ご協力ください。

みめま新棟 1階駐車場